

PET-CT 検査注意事項

このたびはPET-CT検査のお申し込みを頂きましてありがとうございます。
安全に、正しく検査を受けていただく為に、以下の注意事項を良くお読みになって下さい。

1. 検査前に必ずご確認くださいこと

- 病気療養中の方は、主治医にPET-CT受診の確認をして下さい。医師の指示書・紹介状がある場合は検査当日ご持参下さい。
- 受診者の病状によっては検査を受けられない、受けても正しい結果を得られない可能性があります。
- 検査で具合が悪くなった事のある方、薬のアレルギーのある方は事前にお申し出下さい。

2. 受診に際してのご注意

<ご来院時間>

- PET-CT検査で使用する薬剤は使用可能な時間が非常に短いため、ご予約時刻の30分前までに必ずご来院下さい。予約時間に遅れますと検査は受けることができません。
- 予約時間より早くご来院されましても、繰り上げ検査はできません。

<食事・運動などの制限>

- PET-CTに使用する薬剤はブドウ糖とほぼ同じ成分です。検査前日から糖분을過剰に摂取したり、糖분을過剰に消費する行為をすると検査薬が体内に行き渡らなくなり、正しい検査結果が得られません。
- 当日は、検査予定時間 5時間前より食事を控えて下さい。水・お茶などの糖分を含まない水分は自由にお飲みいただいて結構です。ジュース・牛乳は飲まないで下さい。
また、前日の夕食（朝食）の内容はできる限り糖分を控えたメニューにさせていただき、果物・お菓子類は召し上がらないで下さい。
- 検査前日・当日に激しい運動をすると筋肉で糖質が消費される為、検査薬が筋肉に集積してしまい、正しい検査結果が得られません。前日から激しい運動は控えて下さい。
- 前日からの食事・運動制限をお守りいただけない場合は、検査自体をご遠慮いただく場合もございます。

<血糖値の高い方>

- 血糖値は検査当日に簡易測定法にて測定しますが、検査時の血糖値が150mg/dlを超える場合には、集積が弱まり偽陰性となる場合があることをご了承願います。
- 血糖値を上げる可能性のある薬（例としてステロイドホルモン剤など）は、当日の服用を控えて下さい。検査後の服用をお願いいたします。

<糖尿病の方へ>

- ① インシュリンなどで1週間以上の血糖コントロールをお願いいたします。
- ② 予約時間に関わらず、前日21時以降は糖分を含む飲食物の摂取を控えていただき、またインシュリン・経口糖尿病薬の注射・服用も検査終了まで行わないで下さい。

<女性の方へ>

- PET-CT 検査は放射線の被曝を伴う検査です。妊娠中・妊娠の可能性のある方は検査を受ける事ができません。
- PET-CT 検査薬剤の卵子への影響は良く分かっていません。当院では不妊治療中の方の検査受診をご遠慮いただいております。
- PET-CT 検査は放射性薬剤を体内に注入する検査です。授乳中の方は検査をご遠慮下さい。

<PET-CT 検査の被曝量と検査時間>

- 1回のPET-CT検査で約8mSv（ミリシーベルト）という量の被曝を伴います。このうち放射性薬剤の注射による被曝量が約4mSvで残りはCTによる被曝量になります。医学的に問題となる可能性は非常に低いものと考えます。
- PET-CT検査の所要時間は全体で約2時間です。検査薬剤を注入して成分が体内に行き渡るのに1時間、検査時間は20～30分、検査後の回復時間に約40分かかります。これらの時間は、検査薬剤に含まれる放射性同位元素の半減期（放射能が半分になるまでの時間）に準じます。PET-CT検査は受診者自身が放射線源になる検査ですから、検査中の外出や、付き添いの方と同室で待機するなどはできません。院内の放射線管理区域内で待機していただきます。
- PET-CT健診を受診される方は、PET-CT検査の他に看護師の問診・身体計測・血糖チェックなどもございます。

<PET-CT 検査終了後について>

- PET-CT検査後は、基本的には食事や入浴等日常生活を通常通り過ごしても構いません。
- 検査で使用した¹⁸F-FDG薬剤は尿から排出されるため、なるべく多めに水分を取るようして下さい。

<キャンセル・予約変更>

- PET-CT検査薬剤は使用時間が限られており、使用日時に合わせて配達の手配をしております。したがって、検査当日の自己都合によるキャンセルに対しては、約50,000円のキャンセル料が発生します（約50,000円は薬剤の料金に相当します）。

山王メディカルセンター
2019年8月7日 改訂